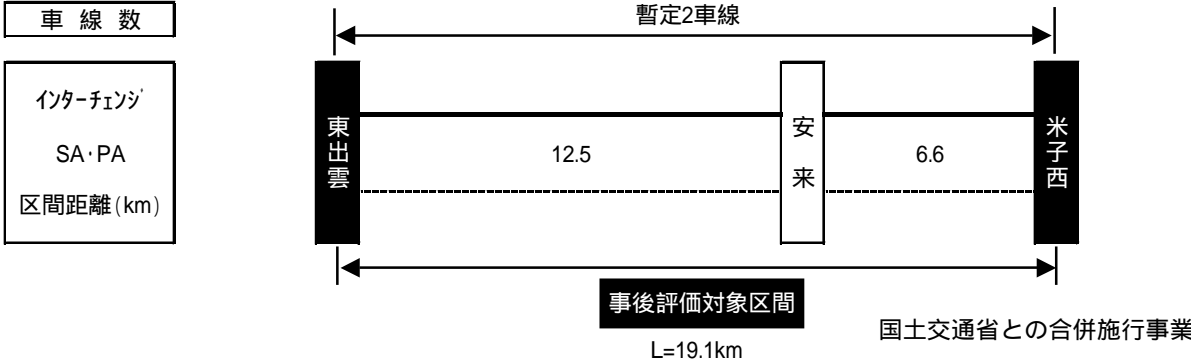


事後評価結果（平成17年度）

担当課：西日本高速道路㈱建設事業統括チーム
担当課長名：高倉 照 正

路線名	一般国道9号安来道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省中国地方整備局 西日本高速道路(株)				
起終点	自：鳥取県米子市陰田町 至：鳥根県八束郡東出雲町出雲郷	延長	19.1 km						
事業概要									
鳥取市を起点とし、美祢市に至る総延長380kmの高規格幹線道路である「山陰自動車道」のうち、米子道路と接続する米子西ICから松江道路と接続する東出雲ICを暫定2車線で整備を行った。									
事業の目的・必要性									
安来道路を含む山陰地域の高速道路ネットワークの整備により、地域の交通混雑の緩和を図るとともに「地域間のアクセス向上や地域交流の促進」あるいは「災害時の支援活動や医療活動への貢献」など、地域の発展や安全で安心できる暮らしの確保に大きく寄与する。									
事業概要図									
 <p style="text-align: center;">事後評価対象区間 L=19.1km 国土交通省との合併施行事業</p>									
事業の 効果等	事業期間	事業化年度	S61年度	用地着手	S62年度	供用年	(計画) H12年度	変動	1.0倍
		都市計画決定	S61年度	工事着手	H元年度		(実績) H12年度		
	事業費	計画時	(名目値) 1,100億円		実績	(名目値) 1,073億円		変動	1.0倍
			(実質値) 1,129億円			(実質値) 1,101億円			
	交通量	計画時	5,900台/日 (平成13年度)		実績	7,300台/日 (平成13年度)		変動	124%
	旅行速度向上 (供用前現道 当該路線)		37.9 (H9年度)	55.3 km/h (H17年度)		交通事故減少 (供用前現道 供用後現道+当該路線)			
費用便益 分析結果 (事後)	B / C	総費用: 1,597億円		総便益: 3,548億円		基準年 H17年			
	2.2	事業費: 1,506億円 維持管理費: 91億円		走行時間短縮便益: 3,325億円 走行経費減少便益: 154億円 交通事故減少便益: 69億円					
事業遅延によるコスト増		費用増加額: -		便益減少額: -					
事業遅延の理由						-			

	<p>客観的評価指標に対応する事後評価項目</p> <ul style="list-style-type: none"> 当該路線の整備によるバス路線の利便性の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・松江市～岡山市 所要時間 3時間22分(H9) 3時間00分(H17) 22分短縮 ・松江市発着の高速バス便数 10便(H9) 19便(H16) ほぼ倍増 ・松江市発着の高速バス利用者数 188千人(H9) 265千人(H16) 約1.4倍増加 三次医療施設へのアクセス向上の状況 <ul style="list-style-type: none"> ・米子市～松江赤十字病院(松江市) 所要時間 31分(H9) 23分(H17) 8分短縮 ・3次救急医療30分到達圏域拡大 40.6万人(17市町村)(H9) 44.1万人(22市町村)(H17) 3.5万人拡大 ・島根県赤十字血液センターから鳥取県・岡山県赤十字血液センターへの相互輸送に利用 緊急輸送道路通行止め時の代替路線の形成 <ul style="list-style-type: none"> ・迂回路 米子市～松江市 所要時間 68分(国道431利用) 36分(高速利用) 32分短縮 ・国道9号通行止め時において、安来IC出入り交通量が約6割増加 <p>他数項目について効果の発現が見られる。</p> <p>その他評価すべきと判断した項目</p> <p>特に無し</p>
<p>事業による環境変化</p>	<p>環境影響評価に対応する項目</p> <p>【大気質】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安来道路沿道の一般環境大気測定局の測定データにアセスメント時の安来道路に起因する値を加えても環境保全目標を満足する。 No₂ : 日平均値の年間98%値 0.028～0.029ppm (0.04～0.06ppm以下) CO : 日平均値の年間2%除外値 1.429～1.446ppm (10ppm以下) <p>【騒音】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境アセスメントで予測した断面について、H16年度平均交通量を用いて再現計算を行い、最も厳しい断面で実測した結果、環境保全目標値を満足する。 実測値：60dB(昼間)(70dB(昼間)) ()中は環境保全目標値 <p>その他評価すべきと判断した項目</p> <p>野生動物の生息環境を保全するため、ロードキル防止用の立入防止柵を設置した。また、出雲東部最大の四隅突出型丘墓(安来市)の現地保存(現在は公園)を図った。</p>
	<p>事業を巡る社会経済情勢等の変化</p> <p>島根県の県内総生産は、全国より大きな伸びを示しており、近年も緩やかな増加傾向。沿道地域の人口は島根県の減少傾向と同じ傾向を示していたが、安来道路の開通後(H12)は増加傾向に転じている。</p> <p>自動車走行台キロは、昭和60年以降、乗用車、貨物車ともに伸びており、全国と比較しても高い伸びを示している。</p>
	<p>今後の事後評価の必要性及び改善措置の必要性</p> <p>費用対効果分析の結果や利用状況、事業の効果の発現状況から一定の整備効果が得られており、今後の事後評価の必要性はない。</p> <p>今後の山陰道の更なる延伸供用に伴い、更なる効果が発現されるものと考えられるため、利用状況の変化等について注視していきたい。</p>
	<p>計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性</p> <p>特になし</p>
	<p>特記事項</p> <p>特になし</p>

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。